
体育史学会 会報

Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 220, 2017. 8. 5.

体育史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒245-8650

横浜市泉区緑園 4-5-3

フェリス女学院大学国際交流学部

和田浩一研究室内

Tel : 045-812-4287

taiikushi_office@taiikushi.org

事務局への連絡は、なるべく
e-mail をご利用下さい。

I. 2017-2018 年度役員

2017年5月14日(日)に開かれた2017年度総会(5/14、龍谷大学)において、2017-2018(平成29-30)年度役員が以下のとおりに承認されました。

<会長>

大久保 英哲

<理事>

秋元 忍 (編集事務局)

新井 博 (副会長、編集委員会委員長)

鈴木 明哲 (会計担当)

田原 淳子 (学会企画担当)

來田 享子 (学会企画担当)

和田 浩一 (事務局長) ※. 理事の担当は会則と規程とにもとづき、互選により決定。

<監事>

大熊 廣明

掛水 通子

それでは2年間、よろしく願いいたします。

II. 日本体育学会第68回大会における企画

日本体育学会第68回大会は2017年9月8日(金)から10日(日)まで、グランシップ(静岡駅近く)と静岡大学において開催されます。専門領域体育史では、シンポジウムとキーノートレクチャーを実施します。

1. 専門領域体育史シンポジウム

日 時 : 9月9日(土) 10:00~12:00

テーマ : 体育史研究の体育授業実践への貢献と役割 : 体育史研究は体育授業にどのように生かせるか

演 者 : 福地豊樹(群馬大学)

○地方史研究を通して見ることができた体育授業：学校体育史研究の射程
鈴木秀人（東京学芸大学）

○体育授業の日常への歴史研究からの貢献
コーディネーター：榊原浩晃（福岡教育大学）

2. 専門領域体育史キーノートレクチャー

日時：9月9日（土）13:00～14:00

テーマ：近世日本弓術の様態と意義の多様化について

演者：入江康平（筑波大学名誉教授、非会員）

司会：大熊廣明（筑波大学名誉教授）

III. 日本体育学会第68回大会における情報交換会について

2017年度総会でお知らせしたとおり、日本体育学会第68回大会（グランシップおよび静岡大学）の期間内に、以下の内容で情報交換会を開催いたします。菊本智之会員（常葉大学）には会場の予約にあたり、たいへんお骨折りいただきました。ここに感謝申し上げます。

日時 9月9日（土）18:00～20:00

会場 肉バル ワイン ペリカーノ 宴会用個室（～30名）

静岡県静岡市葵区呉服 2-4-2 サンシャイン呉服町 1F、電話：054-251-0010

JR 静岡駅 徒歩8分、新静岡駅 徒歩7分

会費 5,000円（学生：2,000円）

★ 申し込み締切日：9月4日（月）

情報交換会への参加を希望される方は、申し込み締切日までに、以下の要領でお申し込みください。みなさまからの早めの申し込みを、心からお待ちしております。

申込先：体育史学会事務局（和田）

メール：taiikushi_office@taiikushi.org

※. メール本文に「氏名」「学生会員・非学生会員の種別」を記載してください。

IV. 体育史学会第6回学会大会（2017年度）の報告

体育史学会第6回学会大会（2017年度）は佐々木浩雄会員（龍谷大学）のお世話により、5月13日（土）および14日（日）の両日、龍谷大学深草キャンパス和顔館（わげんかん）において開催されました。以下のように9演題の一般研究発表と体育史研究・研究方法セミナーが実施されました。

〔一般研究発表〕（発表順）

1) 1948年IOCロンドン総会の日本人出席問題に関するイギリス外務省の見解

和所 泰史（環太平洋大学）

2) 「長崎に眠る西洋人－長崎国際墓地墓碑巡り」に紹介された「活水の音楽会の記事」の真相：長崎活水女学校に関する英文史料からの考察

柿山 哲治（福岡大学スポーツ科学部）

- 3) 小橋一太と明治神宮大会における学生参加をめぐる問題
尾川 翔大 (日本体育大学大学院)
- 4) 近代武道・合気道の形成過程：植芝盛平の大東流合気柔術修行歴に着目して
工藤 龍太 (早稲田大学)
- 5) 1920-30年代における中島海の体操科実践：「技術」習得をめぐる問題
藤川 和俊 (帝京平成大学)
- 6) 1960年代における在日コリアンのサッカー活動：在日朝鮮蹴球団の初期活動に着目して
咸 章鉉(筑波大学大学院)・李 燦雨(筑波大学)
- 7) 陸軍戸山学校「体操卒」に関する考察：付「監的卒」
木下 秀明 (元日本大学)
- 8) 戦前の埼玉県における武道必修化に伴う武道担当教員の推移：1930～1934年の埼玉県学事関係職員録から
古川 修 (元埼玉県体育協会)
- 9) 総力戦体制下での全日本スキー連盟のスキー振興：昭和14・15年国民精神総動員全国皆スキー行進
新井 博 (日本福祉大学)

〔体育史研究・研究方法セミナー〕

研究テーマの一貫性と俯瞰的視野：「体育・スポーツと国民統合」というテーマから

演 者：佐々木 浩雄 (龍谷大学)

司 会：坂上 康博 (一橋大学)

V. 体育史学会総会 (2017年度) 報告

体育史学会ウェブサイトの「会員専用ページ」でご案内している総会議事録を、ご覧下さい。なお、パスワードはメールマガジンでお知らせします。メールマガジンに登録されていない方は、事務局 (taiikushi_office@taiikushi.org) にお尋ねください。

VI. 『体育史研究』編集委員会より

『体育史研究』第35号 (2018年3月発行予定) への投稿をお待ちしています。第35号の投稿締め切り日は、2017年9月30日です。

なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われ、各年度の投稿締切日は9月末となっています。詳しくは、「『体育史研究』投稿規定」(『体育史研究』最新号、または学会ウェブサイト [「体育史研究」→「投稿・編集規定」]) をご覧ください。

『体育史研究』への投稿の宛先

1) メールでの投稿

体育史学会事務局：taiikushi_office@taiikushi.org

2) 郵送での投稿

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科

秋元忍研究室気付 『体育史研究』編集委員会

以上